

3社の合併

# 「JTL」が事業開始

## 「関西・関東」を12台でスタート

トナミホールディングス（社長、綿貫勝介）、第一（社長、武藤幸規）、久留米（社長、二又茂明）の3社合併で4月に設立した「ジャパン・トナミ」がある京浜トラックターミナルで、事業会社のトナミ運輸・第一貨物・久留米運送の各社長らが出席し業務開始・車両出発式を行った。

4月2日に3事業会社の大きな夢を持って誕生した、小さな会社です。きょうの出発式は「関西地

区・関東地区」の運行を12台でスタートする第一歩です。（3事業会社には）親という立場で今後ともご指導いただきたい」とあいさつした。

その後、出発待つ大型トラック12台を前に関係者によるテープカットが行われた。

「運行の効率化による市場競争力の強化」と国内外への3PL業務支援機能の強化で、顧客へのサービス向上・拡大をめざす。将来的には、事業領域の拡大や事業会社間のインフラの共用なども視野に入れ、事業展開を図る方針。



車両の出発式でテープカット（左から第一貨物・武藤社長、JTL・坂田社長、トナミ・綿貫社長、久留米・二又社長）

出資比率はトナミ50%、第一40%、久留米10%。従業員14人（ドライバー職12人、車両12台）。当面は事業会社3社の関西・関東の運行業務を受託し、3社の

出資比率はトナミ50%、第一40%、久留米10%。従業員14人（ドライバー職12人、車両12台）。当面は事業会社3社の関西・関東の運行業務を受託し、3社の

出資比率はトナミ50%、第一40%、久留米10%。従業員14人（ドライバー職12人、車両12台）。当面は事業会社3社の関西・関東の運行業務を受託し、3社の